

【内部評価用】 平成30年度【1学年】評価個票

NO 1

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 自主自律。 ② 正しい時間に、正しい場所に、正しい姿で居る。 ③ 社会に出るための基本を育む。 ④ Classiを使った教育活動の展開。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	「時間と期限を守る」	集会、授業等において決められた時間に集合していること。また決められた期限に提出すべき書類が揃っているか。					
2	「挨拶ができる」	日常生活においてかかわる人たちにきちんと挨拶する習慣をつける。相手の存在を認め心が込もった挨拶ができる。					
3	「スマートフォンを正しく使う」	節度をもってスマートフォンを使用できるか。また自分の発する言葉に責任をもって使うことができるか。					
4	「TPOを守る(服装、態度)」	授業または集会等様々な場面においてその場にふさわしい行動、服装、態度ができていないか。					
5	「自ら挑戦をする(特活、部活、生徒会、ボランティア)」	誰かが何かを投げかけてくれるのを待たず自分からチャレンジしているか。(クラブ活動、学習活動、委員会活動等)					
6	「整理整頓・清掃の徹底」	自分の荷物等をきちんと整理し管理ができているか。感謝の気持ちを込めて清掃活動ができているか。					
7	「Classiを使った教育活動の展開」	Classiを活用し学習環境の確立が図れたか。					

【内部評価用】 平成 30 年度【2 学年】評価個票 NO 2

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)			総合評価	
<p>学校生活全体を通し、主体的かつ自律した人間形成を目指すとともに、仲間を思いやる豊かな人間性を育む。</p> <p>① 目的意識を持って自分自身の生活を企画し、実践していく能力を高める。 ② 主体的にコミュニケーションをとり、人とつながる能力を高める。 ③ 集団を自治的に運営する経験を通じて、社会的な意欲と社会性を高める。 (上記のことを、「総合的な学習の時間」を一つの中核として有機的に展開していく。)</p>						
	目標	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	家庭学習の習慣を身につけさせることで、学習習慣の確立と基礎学力の定着をはかる。	生徒が学ぶことの意味や根気強く取り組むことの重要性を認識させ、家庭学習の習慣を確立できたか。				
2	ベル着の徹底など時間厳守を意識させることで、授業への集中力を高めさせ、また提出物の期限厳守などの恒常化をはかる。	生徒自らが、先を見越した行動をすることができたか。				
3	コミュニケーションをはかるための第一歩である挨拶の励行を心がける。また、SSTを計画的に配置する。	自分から積極的に挨拶ができたか。 生徒のコミュニケーション能力をたかめることができたか。				
4	携帯電話やスマートフォンの自己管理などについて注意喚起し、学校のルールを守らせる。	生徒自らが、時間にけじめをつけることができたか。				
5	進路指導の中で、課題を設定し、自ら調べ、それをまとめて、自分の意見として発表し、協議するという要素を意識的に導入する。	生徒達が意欲的に取り組み、その中で発見し、自らの考えをまとめることができたか。				
6	クラブ活動や生徒会活動等自主活動を奨励し、充実した生活を送るようにさせる。	自主的かつ意欲的な活動を通して、生徒が様々な経験ができるように支援できたか。				
7	ルーム長会を機能させ、行事等の充実をはかり、いじめのない学年をめざす。	自治的に集団を運営することで、生徒への認知度を高め、指導力を発揮した集団作りができたか。				
8	学年通信等を通して、生徒・保護者に学校の現状を説明するとともに、指導の意図について丁寧に説明し、指導効果を高める。	生徒及び保護者に指導意図が理解されていたか。				
9	生徒の問題を学年全体の問題として捉え、協力して対応する。	学年団の連携が緊密にとれ、迅速かつ的確な対処ができたか。				

【内部評価用】

平成 30 年 度 【 3 学 年 】 評 価 個 票

NO 3

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
⑤ 卒業後の自律と自立に向けて、目的意識を持った生活を考えさせ、実践することができる能力を高めていく(希望する進路の実現をはかる)。 ⑥ 主体的にコミュニケーションをとり、人や社会とつながる能力を高める。 ⑦ 集団を自治的に運営する経験を通して社会的な意欲と社会力を高める。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	進路に対する意識をより高めつつ、進路目標を実現させるための具体的な取り組みが、一人一人主体的に展開できるように支援する。	生徒が自分の進路に真剣に向き合う中で、必要な情報の収集や研究、更には各自の進路実現のための必要な取り組みを実践できたか。					
2	進路目標に対応できるだけ学習時間の量的な拡大と質的な向上をはかるよう促していく。	一人一人が自分の目標や志望を明確化することで、実現に必要な学習時間を確保し、より効率良い学習を進めることができたか。					
3	個々の工夫をもとにした自己管理を更に促すとともに、卒業後を意識した社会性の育成やコミュニケーション能力の向上を目指す。	卒業後の自律と自立、周囲との協調を目指して、自分を適切にコントロールし、回りを意識した立ち居振る舞いができたかどうか。					
4	クラブや生徒会など生徒の自主活動を支援し、最高学年としての自覚を持った活動を促していく。	最高学年として全校をリードする中で、より意欲的に活動に参加し、意義を見出すことができたか。					
5	ルーム長会を自治的に運営し、学年全体を動かす存在としての自覚を促す。	自治的に集団を運営する意味を認識する中で、積極的な活動が展開できたか。					
6	職員の情報交換や連携を重視し、学年全体で支援体制を構築する。	学年団の連携が緊密に取れ、迅速かつ的確な対処ができたか。					
7	保護者への情報提供を迅速かつ細やかに行う。	学年(進路)通信やオクレンジャーを利用して、家庭が学校の様子を充分把握できたか。					

【内部評価用】 平成30度【学校運営】領域（教務係）評価個票

NO. 4

今年度の重点目標			領域の評価(成果と課題)			総合評価		
① 諸行事・諸会議の企画・運営を積極的に見直すとともに校内の各部署と綿密な連携をとり、より効率的で円滑な学校運営をはかる。 ② 生徒の学習環境の改善に努めるとともに、危機管理を行い、想定されるさまざまな災害・事故・事件に備える。 ③ 公式ホームページの定期的な更新や「野沢南だより」等の発行を通じて広報活動を充実させ、開かれた学校づくりを進める。								
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C		
1	職員会議、成績会議、朝会の企画運営	会議を適切に企画、運営できたか。						
2	入学式、卒業式、始業式、終業式の運営	関係部署と協力し、効率的で円滑な運営ができたか。						
3	体験入学、公開授業の企画運営	PR活動・渉外活動を含め、企画、運営を適切に行うことができたか。						
4	入学者選抜業務の企画運営	綿密な計画を立て、確実に円滑な運営ができたか。						
5	時間割、行事計画、日課等の検討、運用	立案、運用を適切に行い、生徒の学習環境の改善につなげることができたか。						
6	危機管理 防災訓練の運営	危機管理を進め、災害、事故、事件に対する備えができたか。						
7	ホームページの運用	更新を適切に行うことができたか。より閲覧しやすいページを目指し改良を重ねることができたか。						
8	「野沢南だより」の発行	発行を通じて広報活動をさらに充実させることができたか。						
9	校内LANの維持管理	運用を適切に行うことができたか。トラブルに迅速に対応できたか。						

【内部評価用】

平成30年度【進路学習指導】領域(図書・視聴覚係)評価個票

NO 5

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価
① 朝読書の充実を図る。 ② 図書委員会活動の活性化する。 ③ 明るく利用しやすい図書館にする。 ④ 芸術鑑賞の企画・運営を、校内の各部署と連携と取り無事故で実施する。 ⑤ 視聴覚機材を各部署が充実して使用できるように提供する。						
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	朝読書及び読書指導	生徒が朝読書を通じ、書物に興味を持ち楽しく読む姿勢をつくり得たか。				
2	委員会活動	当番活動を始めとして、広報活動・選書活動・調査活動等に積極的に取り組めたか。特に貸し出し冊数の増冊ができたか。				
3	教科との連携	各教科との連携をスムーズに行い、資料等の情報を提供することができたか。				
4	蔵書管理システムの活用	図書館活動に十分に活用できたか。蔵書をきちんと管理できたか。				
5	レファレンス・サービス	利用者からのレファレンスに対し、他館との連携などにより、資料の提供ができたか。				
6	視聴覚・情報機器の管理	機器の管理・保全ができたか。				
7	芸術鑑賞の運営	生徒の関心と芸術的感性を高める企画であったか。				

【内部評価用】

平成30年度【進路学習指導】領域(進路指導)評価個票

NO 6

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 自立した学習者の育成の研究と実践 ② 大学等の推薦入試(小論・面接等)への組織的指導 ③ 保護者への進学状況の提供。(PTA各学年委員会との協力) ④ 職員全員による入試研究、広報活動・進学情報等の共有 ⑤ 校外模試の活用、データの共有、有効活用 ⑥ 総合学習係と鈴蘭アカデミーとの連携・協力							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	適切な進路指導の実践	進路指導が計画どおり、バランスよく総括的に行われたか。					
2	学力の向上(自立学習支援)	学力向上に向けて自立学習支援の研究と実践ができたか。					
3	推薦入試等の組織的指導	職員の共通理解のもと、生徒一人一人に担当を決めて進路指導ができたか。					
4	保護者との連携	進路説明会・HP・新聞・通知等で進路実践の説明・報告ができたか。					
5	情報収集・研究と進路情報の共有	学校訪問を計画的に行い、入試情報を得て職員と共有することができたか。					
6	進路情報・資料の活用	適切なデータ収集と提供ができたか。データの共有と有効利用ができたか。					
7	勤労観・職業観の育成	総合学習係と連携できたか。					

【内部評価用】

平成30年度【進路学習指導】領域(総合学習)評価個票

NO 7

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 年間を通じた適切な指導計画、評価基準の立案と実施。 ② 大学インターンシップや就業体験など体験的学習を通し、自分の将来像を模索し、キャリア形成の基礎の定着を図る。 ③ 進路指導係、キャリア教育係との連携と推進を図る。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	各分掌との連携	進路指導係やキャリア教育係と連携を図りながら指導を行えたか。					
2	授業計画の立案と実施	総合学習が意義のあるものとなるような授業計画の立案とその実施を計画的に実施できたか。					
3	評価基準の設定	どのように評価を行うか、その評価基準を適切に設定できたか。					
4	自己理解・社会理解の促進	キャリアガイダンス・講演会・大学インターンシップ・「ようこそ先輩」など効果的に取り組めたか。特に、就業体験的活動は充実した実践につながったか。					

【内部評価用】

平成30年度【キャリア教育】領域(キャリア教育)評価個票

NO. 8

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 生徒の、将来の職業選択や自己実現のために必要な人生観を育む探究的な学びの援助をおこなう。 ② 生徒自身の自己理解を深める援助をおこなう。 ③ コミュニケーション能力を育むための条件を整える。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	自己理解の深化・社会理解の拡大	各種行事への参加や各種調査(進路希望・スタディーサポートなど)を通じて、生徒の自己理解の深化を援助できたか。					
2	コミュニケーション能力の伸張	教育活動のあらゆる場面でコミュニケーション能力の伸張が図れるよう、カリキュラムや行事計画について必要な手だてを講じることができたか。					
3	情報伝達	重点目標実現のために有益な情報(ボランティア・各種体験などの募集)の伝達について工夫をし、伝達の徹底ができたかどうか。					
4	他の機関等との連携強化	児童館・病院・上級学校・保護者や地域の人々などとの連携を深め、生徒の自己理解や社会理解の援助ができたか。					

【内部評価用】

平成30年度【生徒指導】領域（人権教育係）評価個票

NO. 9

今年度の重点目標		領域の評価（成果と課題）				総合評価	
正しい認識の基盤となる科学的な学習と想像力が、「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去」することに繋がることを学ぶ。また、「共生」社会を実現するための具体的な行動の仕方について認識を深めさせる。							
NO	評価項目	評価の観点	評価（成果と課題）	A	B	C	
1	全校人権HRの実施	人権問題についての正しい理解と認識が深まったか。全校人権HRの前後で、必要な段階を踏むことが出来たか。					
2	職員研修の実施	人権教育に携わる指導者として、教材と教案に関する理解を深めることが出来たか。					

【内部評価用】

平成30年度【生徒指導】領域（生徒会係）評価個票

NO. 10

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 計画力・企画力・指導力・調整力を持つ執行部を育成する。 ② 各委員会の更なる活性化をはかり、委員として自主的に行動できるようにする。 ③ 活動を学校内外に発信する。 ④ 今後の自主活動のあり方について探求する。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	各行事の企画・運営	設定時期・内容・運営が適切であったか。					
2	執行部指導	役員会・執行部会の機能の充実、自主性・創造性の醸成がはかられたか。					
3	委員会活動の活性化	委員長を中心に、多くの委員が活動したか。					
4	委員会活動の連携	委員会間、生徒間、顧問間の連携がはかられたか。					
5	クラブ活動の活性化	加入・活動人数の増加が図られたか。 充実した活動ができたか。					
6	文化祭の質的向上	より高いテーマや目標を掲げて準備できたか。学校内外から評価が得られたか。					
7	地域への貢献	ボランティア活動や地域清掃等を通じて地域への貢献をはかられたか。					

内部評価用】

平成30年度【生徒指導】領域(生徒指導係)評価個票

NO. 11

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 生徒の生活習慣確立(自主自律)をサポートする。 ② 学校生活全般における安全管理の大切さを生徒に徹底し、事故等を未然に防ぐことができるように促す。 ③ LINEなどSNS全体のトラブルなど防ぐように指導する。 ④ 地域との連携をはかり、学校内のみならず、学校外での事例に対し速やかに対応できる体制を整える。 ⑤ 頭髪等風紀指導及び盗難防止に努め、生徒が安心して勉学に集中できる環境を作る。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	風紀指導	計画通り(年3回)全校一斉風紀指導を実施したか。					
2	交通安全指導	春・秋計2回の交通安全指導、原付安全講習会を実施し、交通安全に対する意識を高めることができたか。					
3	生徒への投げかけかた	生徒指導通信等を活用し、様々な問題を生徒に発信をし、各自の問題として考え、解決できるように努めたか。					
4	校内研修体制の充実	人権教育係等と連携し、今日的な様々な問題に対して、教職員全体の研修会をもつことができたか。					
5	指導の公明性	問題行動等、生徒への指導において、その根拠・手続きなどが十分に生徒・保護者に説明されているか。					
6	職員体制の確立	有機的な連携がとれる全職員の協力体制ができているか。					
7	保健係、生徒支援委員会等の連携	生徒の心の問題やいじめの根絶等について、保健係や生徒支援委員会等と十分に連携がはかれたか。					

【内部評価用】

平成30年度【特別支援】領域評価個票

NO. 12

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価
① 特別な支援を必要とする生徒の支援計画、支援体制の充実を図る。 ② 職員向けに発達障がい等の研修会を企画し、発達障がいについての知識と理解を深める。						
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	校内の特別支援体制の充実	定期的に生徒支援委員会を開き、生徒の情報を共有し、生徒支援(相談)について積極的に対策を講じ、解決に向けた取り組みができたか。				
2	個別の支援計画、支援体制についての研究及び情報収集	高等学校特別支援教育研究会で学んだ内容を基に、支援計画、支援体制について具現化することができたか。				
3	発達障がいの研修会の計画	職員が参加しやすい研修会が計画できたか。また、研修会を行うことによって職員の知識、理解を深めることができたか。				

【内部評価用】

平成30年度【保健・環境】領域（整美係）評価個票

NO 13

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価
① 校舎内外の清掃・美化 ② 委員会活動の活性化						
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C
1	校舎内外の清掃・美化 ・清掃分担は、清掃しやすい場所、監督しやすい場所にするよう配慮し、通年、清掃が日常活動として定着できるようにする。 ・用具庫が機能的に使用できる状態を維持し、必要なものは購入する。	清掃は日常活動として定着しているか。 用具庫を機能的に使用できるように維持しているか。				
2	委員会活動の活性化 ・日常清掃を最も重視し、自分たちのクラスの分担の用具、清掃状況を点検する。また、ゴミの分別を徹底させ、箒の柄にヒモをつけるなど、細かいことに気を配る。 ・生徒会執行部とともに、校外清掃を実施する。	用具の点検整備、モップ洗い、ゴミステーション当番などしっかりと活動しているか。 計画に従って校外清掃が実施できたか。				

【内部評価用】 平成30年度【環境・保健】領域（保健係）評価個票

NO 14

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 生徒が心身とも健康な体で、安心して安全に学校生活を送ることができるよう支援する。 ② 生徒支援委員会並びに特別支援教育コーディネーターと連携をはかり、支援体制や健康相談の充実を図る。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	基本的な生活習慣の指導	睡眠、食事、服装、薬に頼らないなど、生活習慣の改善がみられたか。					
2	健康・安全意識の向上	定期健康診断を全員が受診したか。 必要に応じて専門医の受診を受けたか。 誰でも安心して利用できる保健室であったか。 生徒の観察を通じて、その健康状態を正しく把握できたか。 感染症の感染拡大は防げたか。 職員・生徒への講習会を実施できたか。					
3	生徒支援委員会との連携、充実	保健室や生徒指導係・特別支援教育支援コーディネーターおよび学年と情報の共有をし、連絡・連携がとれたか。 チームで対応することができたか。 当該生徒に改善がみられたか。					

【内部評価用】

平成30年度【渉外】領域（PTA・厚生）評価個票

NO. 15

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
○会員が参加しやすい活動にするための工夫を検討する。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	PTA総会	総会・学年PTA・学級PTAへの参加態勢が十分であったか。					
2	鈴蘭祭PTAバザー・作品展	バザー・作品展を通じて、会員が鈴蘭祭へ積極的に参加することができたか。					
3	大学見学	会員の進路指導への理解を深めることができたか。					
4	ソフトバレーボール大会	クラス・学年で参加を呼びかけ、多くの会員相互の親睦をはかることができたか。					
5	PTA会報	活動状況を会員に伝えることができたか。					
6	校外巡視	生徒の実態を保護者にも理解してもらえたか。					
7	職員厚生	職員相互の親睦を深めることができたか。					
8	東信高P連事務局（本年のみ）	会議の召集・参加、レポート発表を滞りなく行うことができたか					

【内部評価用】

平成30年度【渉外】領域（同窓会）評価個票

NO 16

今年度の重点目標		領域の評価(成果と課題)				総合評価	
① 同窓生と学校をつなぐ渉外係として、総会、理事会、支部長会が、役員はじめ多くの会員の方々との意見交・情報交換の場として機能するよう活動する。 ② 同窓会活動が円滑に準備、開催できるよう活動する。							
NO	評価項目	評価の観点	評価(成果と課題)	A	B	C	
1	活動計画の作成	学校との連携を密にし、より学校、生徒の活動に役立てる計画になったか。					
2	理事会・支部長会の準備・運営	より多くの役員の出席を得て、十分な意見交換ができ、スムーズな運営ができたか。					
3	総会の準備・運営	多くの同窓生の参加を得て、有意義な総会になったか。					
4	会報作成への取り組み	充実した内容になるよう、係として協力できたか。					
5	「発展させる会」との連携	連携が密にとれ、活動に協力できたか。					